

2024 年度入学試験問題
〔データサイエンス学部〕

学校推薦型選抜

小論文

〔論述（図表理解）〕

注意

1. 指示があるまで、手を触れないこと。
2. 指示に従って、解答用紙に受験番号（算用数字）および氏名をはっきりと記入すること。
3. 解答は、解答用紙の指定された箇所に、横書きで記入すること。
4. 問題冊子は8ページ、解答用紙は1枚である。もし、問題冊子の落丁、乱丁および解答用紙の汚れなどがあれば、ただちに申し出ること。
5. 問題冊子は持ち帰ること。

問題（100点）

近年、ChatGPT^(注1)をはじめとする生成 AI^(注2) に対する関心が高まっています。下記図表 1～7 は ChatGPT・生成 AI に関するデータです。これらを参照しながら以下の設問に答えなさい。

設問 1 図表 1・2 は ChatGPT を提供している OpenAI^(注3) へのアクセス数を示しています。図表 3・4 は日本における ChatGPT の認知度、利用率に関するデータです。図表 1～4 をもとに日本での ChatGPT に関する利用状況について概観し、300 字以内で述べなさい。

設問 2 図表 5～7 は ChatGPT を含む生成 AI について、ビジネス利用の意向と実態を調査したアンケートです。図表 5～7 をもとにビジネスでの生成 AI 利用について概観し、今後日本での生成 AI のビジネス利用について、あなたの意見を 500 字以内で述べなさい（否定的でも肯定的でも良い）。

(注 1) ChatGPT とは OpenAI 社が開発した対話形式のテキスト生成型人工知能です。

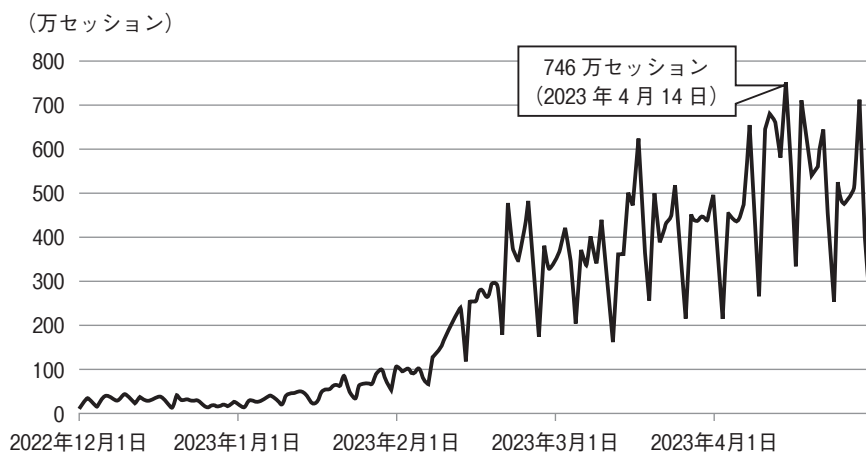
(注 2) 生成 AI とはテキスト・プログラム・画像・音楽・動画などのコンテンツを生成可能な人工知能です。

(注 3) OpenAI とは人工知能の開発を行っているアメリカ企業です。2022 年 11 月 30 日に ChatGPT を発表しました。

※出題にあたり、元の図表の一部を加工修正しています。

図表1 Openai.com への日本からのアクセス数推移

(2022年12月1日～2023年4月30日)



(出典) 野村総合研究所「日本の ChatGPT 利用動向 (2023 年 4 月時点)」

(similarweb より野村総合研究所作成)

※セッションとはサイトへのアクセス開始から終了までの事であり，図中にある「746 万セッション」とは，746 万回のアクセスが日本から Openai.com にあったことを示している。

図表2 Openai.comの国別トラフィックシェア（2022年11月～2023年4月）

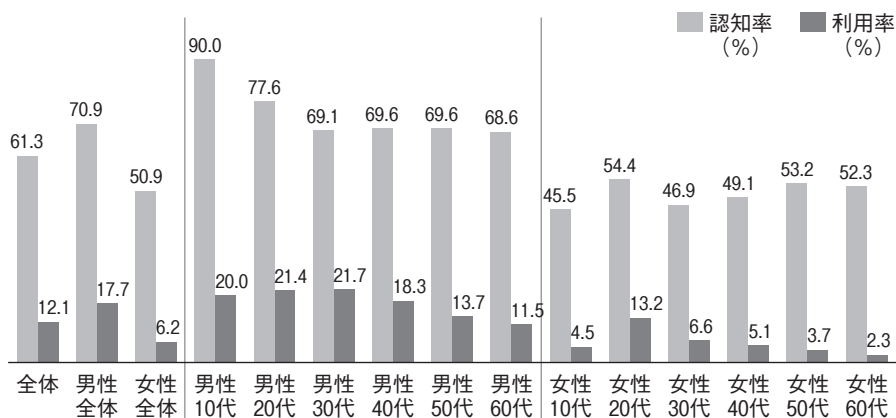
順位	国	トラフィックシェア
1	米国	10.6%
2	インド	9.0%
3	日本	6.6%
4	インドネシア	3.6%
5	カナダ	3.2%
6	フランス	3.0%
7	スウェーデン	2.5%
8	ブラジル	2.4%
9	ドイツ	2.3%
10	中国	2.3%

（出典）野村総合研究所「日本のChatGPT利用動向（2023年4月時点）」
（similarwebより野村総合研究所作成）

※トラフィックとはコンピュータ通信におけるデータ量の事である。

図表3 ChatGPTの性年代別認知・利用率

(関東地方15～69歳, 2023年4月15～16日)



(出典) 野村総合研究所「日本のChatGPT利用動向(2023年4月時点)」

アンケート調査の概要

野村総合研究所「インサイトシグナル調査」

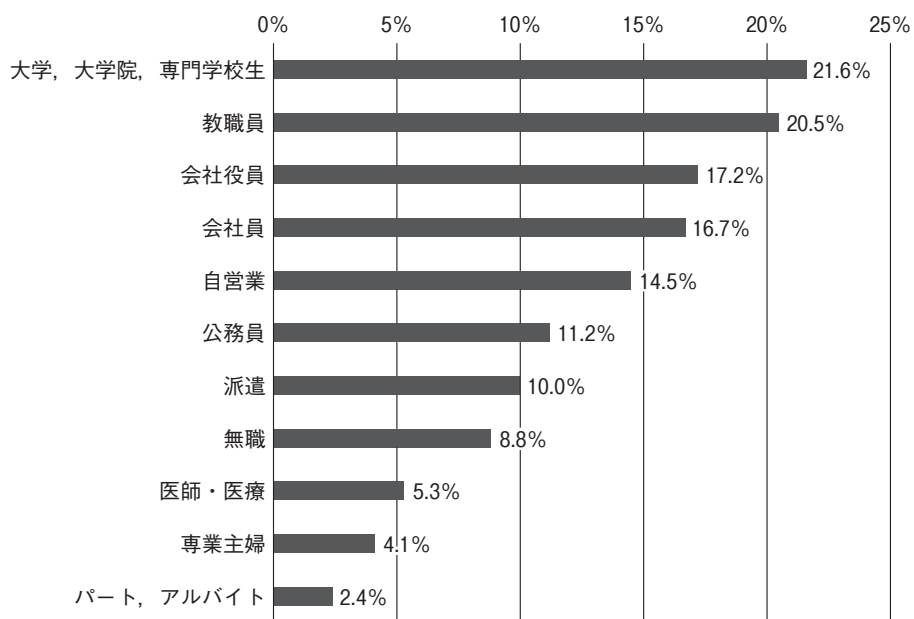
実施時期：2023年4月15日～16日

調査方法：インターネット調査

調査対象：関東1都6県（茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京、神奈川）在住の満
15～69歳の男女個人

有効回答数：3,204人

図表4 職業別に見た ChatGPT 利用率



(出典) 野村総合研究所「日本の ChatGPT 利用動向 (2023 年 4 月時点)」

アンケート調査の概要

野村総合研究所「インサイトシグナル調査」

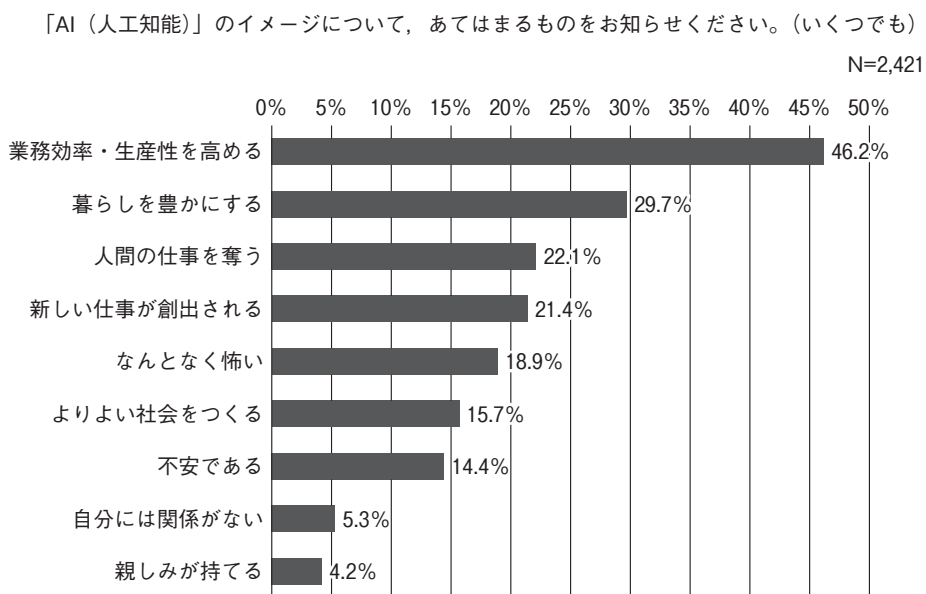
実施時期：2023 年 4 月 15 日～16 日

調査方法：インターネット調査

調査対象：関東 1 都 6 県（茨城，栃木，群馬，千葉，埼玉，東京，神奈川）在住の満
15～69 歳の男女個人

有効回答数：3,204 人

図表5 AI（人工知能）のイメージ



（出典）野村総合研究所「アンケート調査にみる「生成 AI」のビジネス利用の実態と意向」（2023年5月）

アンケート調査の概要

野村総合研究所「AIの導入に関するアンケート調査」

実施時期：2023年5月22日～23日

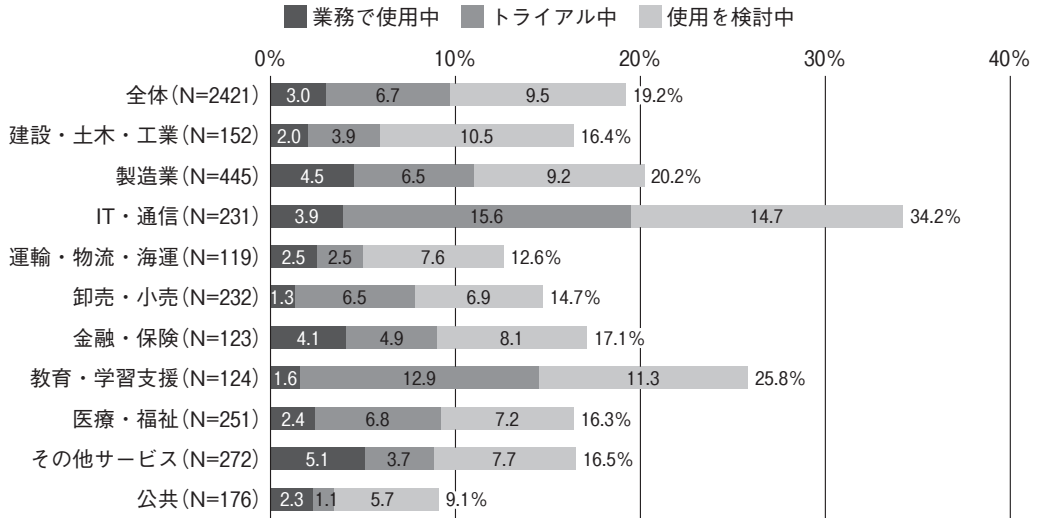
調査方法：インターネット調査

調査対象：日本全国に在住する20～69歳のビジネスパーソン（パート・アルバイトを除く就労者）

有効回答数：2,421人

※図中のNは人数を示している。

図表 6 生成 AI の職場における導入・検討状況（勤務先の業種別）



（出典）野村総合研究所「アンケート調査にみる「生成 AI」のビジネス利用の実態と意向」（2023年5月）

アンケート調査の概要

野村総合研究所「AIの導入に関するアンケート調査」

実施時期：2023年5月22日～23日

調査方法：インターネット調査

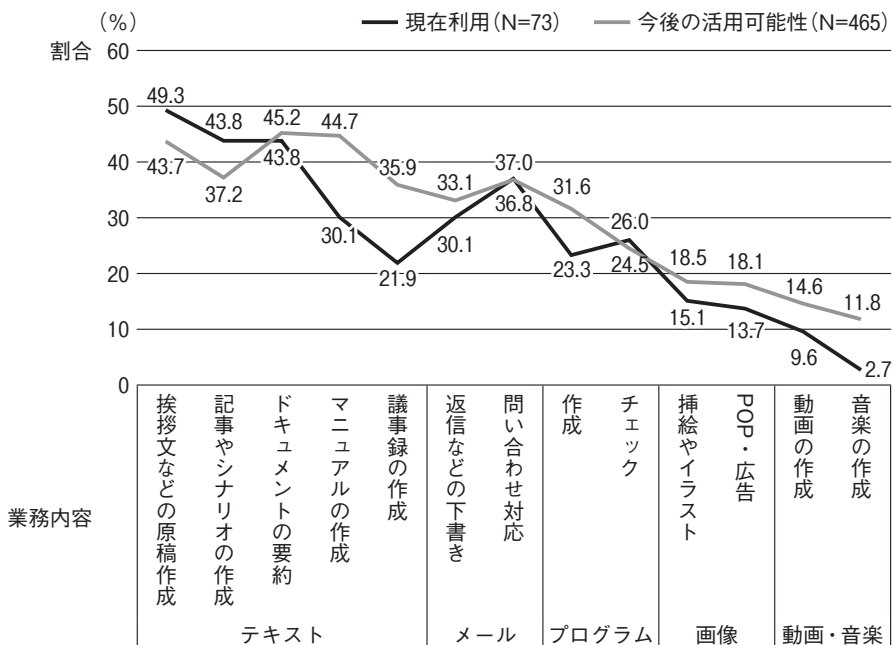
調査対象：日本全国に在住する20～69歳のビジネスパーソン（パート・アルバイトを除く就労者）

有効回答数：2,421人

※図中のNは人数を示している。

図表7 生成 AI の利用用途と今後の活用可能性

- ①実際に、どのような業務で「生成 AI」のツール・アプリ・ソフトを使っていますか。(いくつでも)
- ②今後、どのような業務で「生成 AI」が活用できると思いますか。(いくつでも)



(出典) 野村総合研究所「アンケート調査にみる「生成 AI」のビジネス利用の実態と意向」(2023年5月)

アンケート調査の概要

野村総合研究所「AIの導入に関するアンケート調査」

実施時期：2023年5月22日～23日

調査方法：インターネット調査

調査対象：日本全国に在住する20～69歳のビジネスパーソン（パート・アルバイトを除く就労者）

有効回答数：2,421人

※図中のNは人数を示している。